

**パンデミック収束後の21世紀へ!**

●一般社団法人浦高同窓会／第4回理事会を終えて!

本日、午後1時半から約1時間、対面形式とZoomのHybridでの「浦高同窓会 令和2年度第4回理事会」が開催されました。理事・監事合計31名中、会場の麗和会館には13名、Zoomでは12名が出席しての会議では開会前に関西浦高会の佐藤進理事(高17回)からWEB幹事会開催などの活動状況のご披露もあり、和やかな雰囲気交流を深めました。

会議では、野辺 博会長(高24回)のご挨拶の中で昨年3月以降の浦高生たちの様子なども紹介され、コロナ禍で大変であった浦高生たちの状況を窺い知ることができました。



写真左が野辺会長、左が高橋副会長

議事は事前に送付された資料に基づいて、次の2点について審議されました。

令和2年度第4回 理事会議題

- ◆第1号議案 令和3年度事業計画(案)及び予算(案)
- ◆第2号議案 代議員の選任(案)



事業計画についてはほぼ例年通りの内容ですが、昨年のようにコロナ禍がどこまで収束するのかによって同窓会事業にも大きな影響がありそうです。特に6月27日(日)に予定している総会についても、多くの一般会員が楽しみにしている還暦年代が幹事を務める講演会や懇親会が開催できず、社員総会だけで良いのか、理事の間からも工夫をするように意見がありました。

予算についても、事業がなかなか出来ない中で支出も少なくなる一方で、グッズ販売など収益も減る状況を今後、どう改善していくのかという意見などもあり、収益性を追求する団体ではないものの将来的な運営を見据えた執行を求める意見もありました。

代議員については、2年に1度の改選の中間期であるため、前任者の残りの任期1年を務める代議員の選任ですが、一社移行後初めてのケースでした。

会場及びZoom参加者からもさまざまな意見はありましたが、野辺会長のスムーズな議事進行で2議案とも議決されました。私にとっては昨年12月の正副会長会議以来のWEB会議でしたが、移動等の問題もなく時間を有意義に使えて助かりました。本来であれば、今日は「地域職域同窓会責任者会議」が予定されており、各地域職域の皆さんと懇親を深める場も用意されるのですが、この時世ですのでWEB交流だけで顔を合わせられたことを喜ぶしか仕方ありませんね。

野辺会長のご挨拶の中で、「昨年6月まで浦高生はオンラインでの学習を受け、伝統行事も殆どが中止となり、唯一11月の古河マラ・強歩大会だけが関係者の皆様の努力で開催された。また、3月17日の卒業式も卒業生と教員だけで、保護者も入れない状況の中で卒業式が行われた」とお話がありましたが、卒業式における水石明彦校長の講話にも…。



◆第73回卒業証書授与式式辞

〔前略〕。思えば、皆さんは入学早々の応援団による校歌指導に度肝を抜かれ、そのわずか一ヶ月後には中学生には未知の領域である10kmという距離に挑む新入生歓迎マラソンの洗礼を受けました。授業のレベルの高さとスピードに食らいつきつつ、部活動で身体が悲鳴を上げる毎日を過ごした人も多数いたことでしょう。体育祭、そして弓ヶ浜での臨海学校を経験し、夏休みを迎えたあたりでやっと浦高生らしくなってきた自分を感じはじめたのではないかと思います。そんな姿を見た保護者の皆様は、我が子が確実に成長していることを実感されたことでしょう。その後も、文化祭、各種スポーツ大会、文化大会、そして強歩大会、修学旅行と、様々な行事を楽しみつつ、2年次の終わり近くまで浦高生活を存分に満喫したことと思います。だから、パンデミックによる突然の臨時休校が長く続いても、制約のある中で生活規律や学習を自分の力で何とかやろうとし、事実、皆さんは立派にやり通してみせた。この一年は、すっかりしない未消化のままのようなモヤモヤ感が残ったことだろう。でも、皆さんは自分で立派に対処した。その力が皆さんには備わっているということです。だから、パンデミックの先行きはまだまだ不透明ですし、パンデミック収束後の21世紀がどのような世界になるのかも全くわかりませんが、それでも何とかなる、何とかできるという強い気持ちを、ぜひ忘れないでほしい。〔後略〕。



とありますが、今年の1年生はほぼ全ての行事を楽しむことができなかつたのですね。来年度の生徒たちには何とか伝統行事を味わってほしいものですね。